

差別は『無知』と『先入観』から

学ぶことの大切さ

何も知らないことが、差別につながるのです
知っていることで、デマや偏見に惑わされないのです



差別は見ようとしなければ見えない

① 部落差別問題について
もっと知りたいけど…
どうすればいいんやろ

② 本？
インターネット？
何が正しいかわかりにくいなあ

③ 講演会か
これに行ってみよう！



自分たちにできること

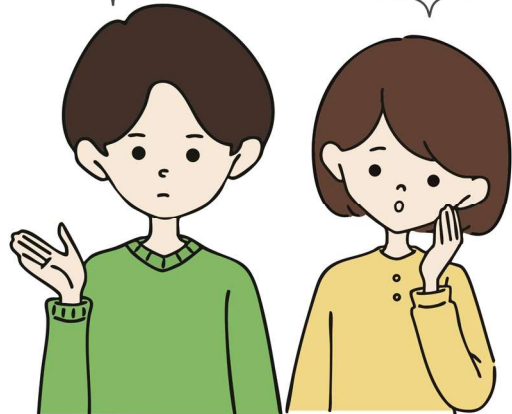
④ 差別をなくすために、
今、自分が
できることは
何だろう



② 自分
は差別して
ないから、
関係ない
んかな

③ いいや、
誰もが
関係がある
んじゃない
かな！

① 部落差別をなくすには
どうしたらいいかな



部落差別って何？

日本社会の過程でつくられた、身分制度や歴史的・社会的に形成された人々の意識に起因する差別行為です。

特定の地域の出身・関係者であることを理由に恋愛や結婚、就職や交友関係において日常的に差別が行われるなど、現在も様々な形であらわれている我が国固有の人権問題です。



部落差別問題は、一人ひとりの問題です なくすために行動しましょう

正しく理解しよう

無知
無理解
無関心

デマや偏見を
うのみ



差別
いじめ
偏見

差別をなくす
行動の第一歩

正しく理解する
講演会や人権学習会に参加

何も知らないことで差別に加担することがあります。正しい知識を身につけることでデマや偏見、身の回りの差別の不合理さに気づくことができます。

自分にできること
から始めよう



不合理に対して「おかしい」と声をあげよう

差別は「する側」「される側」よりも、目の前の差別の現実に対し「なくす側」なのか「残す側」なのかが問われています。「なくす側」であるためには、目の前の差別に対して、「おかしい」と声をあげることが大切です。身近な人や、人権に関する相談窓口に話すことから始めてみてください。

差別に対して、多くの人たちが「おかしい」と抗議して守ってくれる、誰もが安心してらせる宍粟市にしていきましょう。

